

公益財団法人 佐藤定雄国際奨学財団

2020年度 給付型奨学生募集要項

趣 旨

公益財団法人 佐藤定雄国際奨学財団（以下、本財団という）は、日本全国の大学に通う、理工系の学生、或いはスポーツに励む学生で、経済的理由から修学が困難な者に対する奨学金給付事業を行い、もってグローバル競争に勝ち残るための人材を育成し、我が国の教育の発展に寄与することを目的として奨学生の募集を行います。

1. 2020年度 奨学生採用予定人数

15名程度

2. 奨学金の内容

(1) 奨学金の額（月額）

30,000円/人

*本財団からの奨学金は、返済の必要はありません

(2) 奨学金支給期間

2020年4月から2年間

(3) 奨学金支給時期

- ① 初年度は4月分から7月分までは、原則として8月に4ヶ月分まとめて支給いたします。
- ② ①以降は、偶数月に当月分と次月分の2ヵ月分を支給いたします。

3. 奨学生の応募資格

「(1) 理工系の学生」「(2) スポーツに励む」どちらかにおいて、①～⑤の全てに該当すると認められる者

(1) 理工系の学生

- ① 理工系の学部に通っていること
- ② 品行方正、志操堅固、健康で、学業成績が優秀であること
- ③ 学資が豊かでないこと
- ④ 日本の大学に通う者であること
- ⑤ 出願する年の4月現在において、次の学年に在籍する者
大学生・・・2年生又は3年生

(2) スポーツに励む学生

- ① スポーツに励んでいること
- ② 品行方正、志操堅固、健康であること
- ③ 学資が豊かでないこと
- ④ 日本の大学に通う者であること
- ⑤ 出願する年の4月現在において、次の学年に在籍する者
大学生・・・2年生又は3年生



注：以下の注記は、「(1) 理工系の学生」「(2) スポーツに励む」に共通です。

1: 過去に本財団の選考の結果不採用となった学生が、再応募することも可能です。

2: すでに他の奨学金（給付型・貸与型を問いません）を受けている学生にも、奨学金を支給します。

4. 応募の手続

(1) 学校の推薦

奨学金の申請を行う場合は、学校の推薦（在学大学長又は所属学部長その他これに相当する者の推薦状）が必要です。

(2) 願書の提出

所定の願書に下記の書類を添付し、学校を通して提出してください。

① 学業成績証明書

② 写真（最近撮影の半身脱帽のもの）

③ 作文課題：（日本語 1,000 文字程度 パソコンによる作成必須）

ア. 将来世の中に貢献したいこと

イ. 科学立国としての日本を考える

（「ア.」「イ.」のうち、どちらか一方を選択してください。ただし、上述「3. 注 1」に基づいて再応募する場合は、前回の応募時と異なる課題を選択してください。）

*願書及び作文用のフォーマットは本財団のホームページから取得して下さい。必ず当該フォーマットで作成して下さい。HP URL: <https://sato-isf.or.jp>

*「3. 奨学生の応募資格」「(2) スポーツに励む学生」の場合は、願書の「大学での戦績（出場大会や成績）」の欄に、当該スポーツに関して、大学進学以降の戦績（出場大会や成績）を簡潔に記載して下さい。「① 学業成績証明書」についても、参考のため、提出して下さい。

5. 応募の締め切り

2020年5月29日（金）までに本財団到着をお願いします。

6. 奨学生の決定通知

奨学生が決定したときは、学校及び学校経由で本人に通知します

*奨学生の決定は、本財団の選考委員会を経て理事会で行います。

*選考の経過及び決定の理由は公表致しません。

7. 奨学金の休止又は廃止事由

奨学生が以下に該当するときは、奨学金の支給を停止又は打ち切ることがあります。

(1) 在学する学校において学籍を失ったとき

(2) 病気その他の理由により成業の見込みがないとき

(3) 理由なく長期にわたって欠席したとき

(4) 学業成績又は素行が甚だ不良のとき

(5) 奨学金願書（添付書類を含む）の記載事項に虚偽が発見されたとき

(6) その他奨学生としての資格を失ったとき

8. 奨学生の義務

奨学生となった者は、本財団が実施する行事に参加するとともに、原則として年に1度の面接に応じて頂きます。

また、2021年3月31日（水）までに「学校成績表（学校指定の成績証明書）」と「作文（1年間の体験・所感・研究成果等）」を提出してください。

9. その他

ご質問がございましたら、以下までご連絡ください。

（連絡先） Tel：090-6926-5386 Mail：matsuoka.hide@admi.iriso.co.jp

（担当） 事務局 松岡 秀光

財団並びに奨学金の概要

公益財団法人 佐藤定雄国際奨学財団

1) 財団の概要

- ・名称；公益財団法人 佐藤定雄国際奨学財団
- ・理事長名；佐藤 定雄
- ・設立日；2016年7月26日
- ・所在地；〒222-0033

神奈川県横浜市港北区新横浜2-13-8

TEL: 045-478-5974

- ・URL；<https://sato-isf.or.jp>
- ・行政庁；内閣府

2) 設立目的

当財団はイリソ電子工業(株)の創業者である佐藤 定雄（佐藤定雄国際奨学財団・理事長）が私財を投入して、2016年7月26日設立致しました。

『日本全国の大学に通う理工系の学生で品行方正、成績優秀でありながら、経済的理由から修学が困難な者に対する奨学金給付及びにスポーツに励む学生に対する奨学給付事業を行い、もってグローバル競争に勝ち残るための人材を育成し、我が国の教育の発展に寄与すること』を目的として、奨学金の給付を行って参ります。

3) 事業実績

2017年度より奨学金給付事業を開始しております。初年度・2018年度・2019年度については、大学の推薦を得て応募された学生について厳正な選考を行い、合計15名程度の奨学生が選考され、奨学金の給付を行っております。

4) 事業計画《2020年度》

【活動内容】

日本全国の大学に通う理工系の学生で品行方正、成績優秀でありながら、経済的理由から修学が困難な者に対する奨学金給付及びスポーツに励む学生に対する奨学給付事業を行い、もってグローバル競争に勝ち残るための人材を育成し、我が国の教育の発展に寄与することを目的と致します。

2020年度に於ける奨学事業費は総額10,800,000円として、2019年度に奨学生に選考された15名（期間2年）に加えまして、新たに15名の学生生徒を奨学生選考委員会で選考の上、採用を決定次第、奨学金を下記のとおり支給致します。

大学生	既定	2019年度奨学生15名	〈月額30,000円〉
	新規選考	<u>2020年度奨学生15名程度</u>	<u>〈月額30,000円〉</u>

5) 奨学金について

概要；詳細は募集要項をご覧ください。

募集スケジュール；募集開始 2020年4月27日（月）
 募集締め切り； 2020年5月29日（金）
 奨学生への決定通知；2020年7月中旬～下旬
 奨学金支給開始： 2020年8月中（予定）

項目	基準等
奨学金支給対象者数	(決定済) 2019年度 15名 (新規) 2020年度 15名
支給金額	月額3万円（給付型） ～他の奨学金をご利用中の方も、本奨学金の利用は可能です。
支給期間	2年間
支給のタイミング	初年度4～7月分 原則8月 8月以降は2ヶ月毎に
応募資格	下記のいずれにも該当すると認められる者。学校の推薦が必要。 ① 理工系に通う学生で、品行方正、志操堅固、健康で学業成績が優秀であること。又はスポーツに励んでいること。 ② 学資が豊かでないこと。 ③ 日本の大学に通う者であること。 ④ 出願する年の4月現在において、次の学年に在籍する者。 大学生・・・2年生又は3年生
応募者の提出資料	① 願書 ② 学業成績証明書 ③ 在学大学の推薦状（学長又は学部長或いはそれに相当する方） ④ 写真 ⑤ 作文課題（日本語1,000字程度）
年収基準	父母の年収合計が税込800万円未満を目途、就学中の兄弟姉妹が本人含め3人以上の場合は、年収税込1,000万円未満を目途

6) 問い合わせ先

本募集並びに本財団の運営に関するお問い合わせは以下にお願い致します。

公益財団法人 佐藤定雄国際奨学財団 事務局 松岡 秀光

電話 090-6926-5386

以上

奨学生願書

年 月 日記入

フリガナ			本籍地	都・道 府・県	郡・区・市	
氏名			卒業予定 または 修了予定	年 月 卒業 修了	見込	
現住所	(〒 -)			自 下 ア パ ー ト 寄 そ ()	宅 宿 ト 舎 他 ()	
電話	(TEL) (携帯)	メール アドレス				
親権者等の住所	(〒 -) (TEL)			持家・借家		
大学名 学部	大学 学部 学科 年 (入学・年 月)					
学 歴 ・ 職 歴	年 月	学校名	年 月	職歴・アルバイト等 (勤務先名・仕事の内容)		
		立 高等学校卒業				
本人の1か月 当りの生活費等	収入	家庭から	円	授業料(年間) 円		
		アルバイト収入	円	授業料免除 有(全額・半額)・無・申請中		
		他の奨学金 (奨学金の名称:)	円	課 外 活 動 等	(高校)	
		その他()	円		(大学)	
	支出	家賃	円/月	課 外 活 動 等	趣味	
	家賃以外の生活費 約	円				
本財団以外の奨学金の 関係事項 (申請中のものも記入)	奨学会名	貸与・給付の別	申請中・受領中の別	月額	貸与または給付の期間	
		貸与・給付	申請中・受領中	円	自 年 月	至 年 月
		貸与・給付	申請中・受領中	円	年 月	年 月
		貸与・給付	申請中・受領中	円	年 月	年 月
		貸与・給付	申請中・受領中	円	年 月	年 月
		貸与・給付	申請中・受領中	円	年 月	年 月
		貸与・給付	申請中・受領中	円	年 月	年 月

写真(4×3cm)
上半身の近影
(6ヶ月以内)を
貼付けする。
写真の裏面に
氏名を記入する。

課題作文 題目「 」

「募集要項」の「4. 応募の手続
(2) ③」に挙げられている課題
から1つを選んで、題目を記入し
てください。

所属 : 大学 学部 年

氏名 : _____

次の行から入力してください。(1行40文字で設定してありますが、変更可です。)

年 月 日

殿

筑波大学長
永田 恭介

推 薦 書

下記の者を、貴奨学生として適当と認め推薦いたします。

記

所属	筑波大学	学群	学術院	学類	研究群	年次
氏名	_____					

推薦所見

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

指導教員等	所属	氏名	印
-------	----	----	---

家 庭 調 査 書

申 請 者	所 属	_____学群 _____学類 _____年次									
	学籍番号				性別	男・女		現住所	〒 _____ TEL (_____)		
	フリガナ										
	氏 名						家族住所	〒 _____ TEL (_____)			
家 族 及 び 所 得	就学者を除く家族	続柄	氏 名	年 齢	職 業	在職期間	勤 務 先 名 称	給与所得の収入金額 (税込)	給与所得以外の所得金額		
		父				年		万円	万円		
		母				年		万円	万円		
		父または母 死亡・離別の場合 時期 (年 月) 理由 (_____)									
		主たる家計支持者無職等の場合 時期 (年 月) 理由 (_____)									
						年		万円	万円		
						年		万円	万円		
						年		万円	万円		
別 居 者 に 関 し て の 注 意 事 項	就学者	続柄	氏 名	年 齢	学 校 名	設置者別	学校種別	通学別	控 除 額		
		本人			筑波大学	国立	—	※自 宅 自 宅 外	万円		
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅 外	万円		
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅 外	万円		
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅 外	万円		
家 庭 の 特 殊 事 情	特別控除項目		控除有無								
	障害者がいる世帯		※有・無	続柄 () 氏名 () 手帳番号 ()					万円		
	その他										
本 人 の 状 況	家庭からの給付		月額 (千円)				認 定				
	アルバイト		月額 (千円) 内容 (_____)				総収入金額	① 万円			
	奨学金	受給中	月額 (千円) 団体名 (_____)				必要経費	② 万円			
		申請中	月額 (千円) 団体名 (_____)				特別控除額	③ 万円			
その他の収入		月額 (千円) 内容 (_____)				総所得金額	④=①-②-③ 万円				
学 業 成 績	評 価	高等学校	.5	4	3	2	1	平 均 値	収入基準額	世帯人数	人
		大学 (院)	A	-	B	C	-		⑤	万円	
	修得単位数または科目数									家計充足率	⑥=(④÷⑤)×100

- (注) 1. 太線の枠内を記入し、※印は○で囲むこと。
2. 「給与所得の収入金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額を記入し、所得証明書、源泉徴収票(写)を添付すること。
(父と母が給与所得者の場合は父と母両方添付すること。年金受給者の場合は年金振込通知書(写)。失業者は雇用保険受給資格者証(写)。
3. 「給与所得以外の所得金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入し、確定申告書(写)等を添付すること。
(父と母が確定申告をしている場合は父と母両方添付すること。)
4. 「家庭の特殊事情」欄について、障害者のいる世帯については障害者手帳(写)、その他については証明するものを添付すること。
5. 「学業成績」欄については、1年次生(編入学生を含む。)にあっては出身学校の成績を記入(科目数で平均値を算出)し、成績証明書を添付すること。2年次以上の者にあっては、前年度までの成績(修得単位数で平均値を算出)を記入し、成績証明書を添付すること。